

議会だより

のだい

お互いに育てよう  
思いやりの心  
野田村立野田小学校

2023  
7/28  
第164号



6月30日、野田小学校の4年生が「人権の花運動」に参加しました。

思いやりの心を育んだ児童は、今後も花が枯れないように水やりを頑張ります。

第16回定例会（令和5年6月）など

定例会・臨時会のあらまし・・・P2～4  
村政を問う（一般質問）・・・P6～11

### 現物給付の対象者18歳まで拡大

歳出の主なものは、国民宿舎事業特別会計繰出金、地域情報通信施設運用経費及び地域おこし協力隊活動経費等に要する経費のほか、人事異動に伴う一般職給与費等の人件費などとなっております。

一般会計補正予算の総額に歳入歳出それぞれ1499万1000円を追加し、総額を42億8412万1000円としました。

**補正予算**  
一般会計予算  
1499万  
1000円増

第16回野田村議会定例会が令和5年6月13日から16日までの4日間を会期として開会されました。  
本定例会では、一般会計補正予算など12件の案件、請願1件、議員発議案1件について審議を行いました。

### 医療費給付

### 条例の一部を改正

子育て支援対策として令和5年8月診療分から、該当となっている事業種別に関わらず医療費助成現物給付対象者を、これまでの中学校卒業年度末までから高校を卒業する年度末までに拡大します。

県内市町村統一して実施するものです。

これまで高校生は医療機関の窓口で一部負担金を支払い、領収書を持参のうえ役場住民生活課窓口で申請が必要でした。



※現物給付  
医療機関の窓口で市町村の医療費助成額を差し引いた自己負担分のみを支払う。

高校生にも令和5年8月診療分から「医療費受給者証」が発行されます。健康保険証とともに提示してください。

### 発議案

提案者 小野寺 光男 議員（総務教民常任委員長）

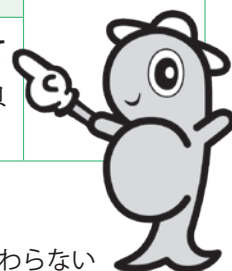
### 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出について

国においては、地方行政の実情を十分に認識し、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるよう、教職員定数の改善の推進、学級編制基準の弾力的運用、義務教育費国庫負担割合の引き上げについて求めるもの

- 1 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、教職員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること
- 2 自治体で国の基準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと
- 3 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること

# 議案一覧 第16回定例会 6月13日～6月16日

議案番号	議案名・議案内容	議決結果
報告第1号	令和4年度野田村一般会計予算繰越明許費の報告について ➡戸籍情報システム改修事業ほか5件について、繰り越しを報告するもの	可決 (賛成全員)
報告第2号	令和4年度野田村公共下水道事業特別会計予算繰越明許費の報告について ➡公共下水道施設整備事業について、事業費の繰り越しを報告するもの	
議案第1号	令和5年度野田村一般会計補正予算(第2号) ➡予算総額に歳入歳出それぞれ1,499万1,000円を追加し、補正後の予算総額を42億8,412万1,000円にしようとするもの	
議案第2号	令和5年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) ➡予算総額に歳入歳出それぞれ3,145万7,000円を追加し、補正後の予算総額を5億2,081万4,000円にしようとするもの	
議案第3号	令和5年度野田村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) ➡予算総額に歳入歳出それぞれ13万1,000円を追加し、補正後の予算総額を4,918万7,000円にしようとするもの	
議案第4号	令和5年度野田村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) ➡予算総額に歳入歳出それぞれ371万円を追加し、補正後の予算総額を4,727万3,000円にしようとするもの	
議案第5号	令和5年度野田村漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) ➡予算総額に歳入歳出それぞれ410万9,000円を追加し、補正後の予算総額を1,839万1,000円にしようとするもの	
議案第6号	令和5年度野田村公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) ➡予算総額に歳入歳出それぞれ2,473万円を追加し、補正後の予算総額を3億2,999万2,000円にしようとするもの	
議案第7号	令和5年度野田村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) ➡予算総額に歳入歳出それぞれ1,036万4,000円を追加し、補正後の予算総額を1億6,447万4,000円にしようとするもの	
議案第8号	令和5年度野田村国民宿舎事業特別会計補正予算(第1号) ➡予算総額に歳入歳出それぞれ352万7,000円を追加し、補正後の予算総額を2,401万7,000円にしようとするもの	
議案第9号	子ども、妊産婦、重度心身障害者、ひとり親家庭及び寡婦等医療費給付条例の一部を改正する条例 ➡子育て支援対策として現物給付の対象者を18歳まで拡大しようとするもの	
議案第10号	東日本大震災津波復興基金条例を廃止する条例 ➡東日本大震災津波復興基金事業の完了に伴い、条例を廃止しようとするもの	
発議案第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出について ➡教職員定数の改善の推進、学級編制基準の弾力的運用、義務教育費国庫負担割合の引き上げについて求めるもの	



※議長は採決に加わらない

# 5 月臨時会

5月臨時会では、一般会計補正予算・条例の一部改正など5件について、審議を行いました。

主

## 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対し、児童1人あたり5万円を給付する事業

な

## 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業

コロナ禍におけるエネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受ける住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり3万円を給付する事業

事

業

## 地域経済活性化応援事業

### ●物価高騰緊急支援給付事業

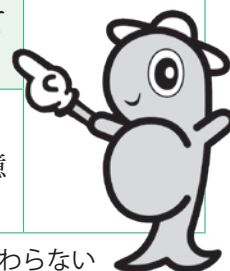
村民の物価高騰の影響緩和及び消費喚起のため商品券5,000円分を交付する事業

### ●キャッシュレス決済活用事業（対象期間8月10日～9月9日まで）

物価高騰の影響を受ける村内の対象店舗で消費喚起のため、ポイント還元を活用し、他地域からの誘客を図る事業  
還元率：30%、期間上限2,000ポイント/1回、10,000ポイント/期間

## 議案一覧 第16回臨時会 5月18日

議案番号	議案名・議案内容	議決結果
承認第1号	令和4年度野田村一般会計補正予算（第8号）の専決処分に関し承認を求めることについて →特別交付税及び地方消費税交付金等の額の決定に伴い予算を補正するもの	可決 (賛成全員)
承認第2号	令和4年度野田村後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）の専決処分に関し承認を求めることについて →後期高齢者医療広域連合納付金の額の決定に伴い、予算を補正するもの	
承認第3号	野田村税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて →地方税法等の一部改正に伴い、野田村税条例の一部について所要の改正をするもの	
承認第4号	野田村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて →地方税法等の一部改正に伴い、野田村国民健康保険税条例の一部について所要の改正をするもの	
議案第1号	令和5年度野田村一般会計補正予算（第1号） →予算総額に歳入歳出それぞれ5,212万1,000円を追加し、総額を42億6,913万円とするもの	



※議長は採決に加わらない

## 主な議会の動き

### ● 5月 ●

- 10日 三陸北縦貫道路整備促進期成同盟会総会（久慈市） . . . . . 議長
- 13日 野田中学校体育祭 . . . . . 議員
- 15日 村政調査会 . . . . . 議員
- 15日 産業常任委員会視察  
（道の駅「いわて北三陸」・交流物産等複合施設建設予定地） . . . . . 議員
- 18日 第16回野田村議会臨時会
- 18日 野田村育英会役員会並びに総会 . . . . . 議長
- 18日 女性の農業委員への登用促進に向けた要請（いわてポラーノの会） . . . 議長
- 23日 野田村商工会通常総会 . . . . . 代理 産業常任委員長
- 23～24日 全国町村議会議長・副議長研修会（東京都） . . . . . 議長、副議長
- 26日 岩手県町村議会議員研修会（盛岡市） . . . . . 議員2名
- 29日 岩手県漁港漁村協会定時総会（盛岡市） . . . . . 議長
- 30日 八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会定例総会（八戸市） . . . 議長

### ● 6月 ●

- 4日 第73回全国植樹祭（陸前高田市） . . . . . 議長
- 5日 野田村社会福祉協議会第1回理事会  
野田村共同募金委員会第1回運営委員会 . . . . . 議長
- 6日 岩手県町村議会議長会臨時総会（盛岡市） . . . . . 議長
- 11日 野田村消防団特別点検 . . . . . 議員
- 13日～16日 第16回野田村議会定例会
- 17日 北岩手・北三陸横断道路整備促進期成同盟会総会及び決起大会（葛巻町）  
. . . . . 議長・副議長・産業常任委員長
- 18日 自衛隊岩手駐屯地創立66周年記念行事（滝沢市） . . . . . 議長
- 19日 野田村体育協会評議員会 . . . . . 議長
- 20日 野田村文化スポーツプロジェクト実行委員会総会 . . . . . 議長
- 25日 野田はまなす会総会及びふるさと交流会（東京都） . . . . . 議長
- 27日 国道281号整備促進期成同盟会監査 . . . . . 議長
- 28日 北奥羽開発促進協議会定例総会（八戸市） . . . . . 議長

### ● 7月 ●

- 5日 八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会要望活動（宮古市） . . . 議長
- 21日 国道281号整備促進期成同盟会総会及び要望会（盛岡市） . . . . . 議長
- 21日 大沢伸子氏 旭日双光章受章祝賀会 . . . . . 議長・副議長
- 25日～26日 岩手県町村議会議長会第1回政務調査会・研修会（住田町） . . . 議長

# 村政を問う

一般  
質問

議員 **5** 人が登壇

**一般質問**は、村の行政事務全般（一般事務）に関し、村の所見や疑義について質問することができます。定例会でのみ（原則）行うことができます。質問時間は、1人60分までとなっており、1つの質問につき**3回まで**質問することができます。



**古舘 幹男 議員 (P7)**

**図書**の充実 子どもたちが読書に親しむ環境づくりを



**丹野 和子 議員 (P8)**

**東日本大震災被災者** 健康づくりと暮らしの向上を



**中川 昇 議員 (P9)**

**子ども医療費** 現物給付の拡大を



**山田 陽子 議員 (P10)**

**健康寿命の延伸** プチ筋トレで転ばない健康効果を



**米田 徳一郎 議員 (P11)**

**三陸道全線開通** 観光客誘致の取り組みは



古館 幹男 議員

## 図書の充実

# 子どもたちが読書に親しむ環境づくりを

### 教育長 充実に努力している

#### 問

子供たちの読書環境は十分整っているか。

#### 教育長

学校の図書室や野田村立図書館は、主体的な学習活動や地域住民が生きがいと心のゆとりを求めて行う生涯学習を支援するものである。必要な予算措置を講じて、図書資料の充実に努めている。各種相談への対応として図書館に司書1名を配置している。

#### 問

小・中学校に司書は配置されているか。

#### 教育長

司書の配置はないが、図書館担当を配置し、その先生中心に整備している。ボランティア等が図書の本の整備、整理などさまざまな図書館環境の充実に努力している。

## 人口減少の実態を

#### 問

平成27年3月時点で4492人1650世帯の人口が令和5年5月の「広報のだ」で見ると

3993人、1668世帯である。この8年間で約500人減少し、年平均で62人から63人減少している。

新入学児童の推移をみると令和7年までは30人前後だが、以降20人から10人台へと減少。学校教育は、施設・設備・環境どの面も素晴らしいと来られた先生方が異口同音に話すが、野田村の太陽になろうと成長した子供たちが希望する仕事、野田村にないのが実態と考える。久慈広域での合併を検討しては。

#### 村長

年々減少しており、令和5年3月末時点で4002人、震災後の平成24年3月末時点と比較すると12年間で639人、年平均では53人減少。出生数は12年間で308人、年平均25人の状況。人口減少は全国的にも大変重要な問題である。今後も、子育て支援、交流人口の拡大、移住定住対策や産業振興策など継続して実施し、長期的な視点で進めていく。現時点

で久慈広域での合併は考えていない。

## 交流物産等複合施設建設予定地は

#### 問

建物の建設予定場所を工業高校に向かう道路側にし和佐羅比山に向く方向にしては。

#### 村長

昨年度、同施設に係る設計業務委託を実施し設計業務を進めるにあたり、複数案の中から県道沿いに横一文字型での配置案が採用され、現在の設計に反映されている。村としては意見を尊重し進めたい。

#### 問

建設予定地の敷地の使い方として東向きにし、県道側に向ける意味は。夏は冷涼で何年かに一度は積雪がある。和佐羅比山に建物を向ける事で冬期の積雪に対し除雪への対応がかなり違ってくるし、いくらかでも復興道路側から見えるのでは。

#### 村長

施設への出店希望者・事業参画希望者等の皆さまと、延べ9回の意見交換を行い、施設の在り方、整備方針、必要な機能やサービス等も議論を重ねてきた。周辺の景観等のバランス、駐車台数、面積の確保、将来的に山林を活用するなど今後の展開も踏まえ、複雑な構造とせず整備のコストを抑え、外部の広い軒下を使ったイベント運営をしたい等、様々な意見の中から配置が決定された。



交流物産等複合施設建設予定地周辺

# 健康づくりと暮らしの向上を

## 村長 相談事業と連携した支援を継続



丹野 和子 議員

### 問

東日本大震災により全壊・大規模半壊・半壊の世帯に「健康状態確認シート」によるアンケート調査を続けてきて24回になる。回収率は20%台となっているが、回収率向上の方策は考えられないか。

### 村長

「健康状態確認シート」は震災後年2回2月と7月に行政連絡員を通じて配布と回収を行い、被災者の健康状態の把握に努めてきた。近年は低い回収率で推移している。郵送での回収など、被災者の心情や負担を踏まえたうえで、改善に取り組んでいく。

### 問

アンケート結果で多くの村民が、身近に相談できる場所が必要と回答していることから、相談所の周知、利用の働きかけが必要ではないか。

### 村長

相談の実施について「のんちゃんネット」や、村広報で周知していく。

### 問

生活費に困窮しているとの回答は年数が経っても一定数ある。どのような対策をとっているか。

### 村長

経済的な支援は福祉担当や社会福祉協議会と情報の共有や連携を図りながら実施していく。

### 問

復旧・復興が進んでいるとの回答が多くなりつつあるが、なお健康推進の重要性を訴える人も多くいる。活動の継続は重要ではないか。

### 村長

長期化する被災者の「こころの健康」についても、「こころの健康相談」を継続して実施しただけるよう岩手医科大学に対し事業継続を要望している。

### 問

児童・生徒の不登校等の取り組みについてスクールカウンセラーの配置状況はどのようになっているか。また

た、別室登校、学校に行けなくなった場合の子どもの居場所はあるか。

### 教育長

スクールカウンセラーは巡回型として、小学校は年間16回、中学校へは30回の配置が予定されている。別室登校の場合は臨機に保健室などで対応している。学校に行けなくなった場合の子どもの居場所づくりとして久慈市と洋野町は設置している。本村で教育支援センターは設置されていないが、玉川地区の「結の里」で開設している「フリースペースゆい」が再開時期を検討している。



人権の花運動に参加 野田小学校

### 株式会社「涼海の丘」は

### 問

「野田村」と「株式会社のだむら」の資本の占める割合が多い。経営状況に関する書類を議会に提出すべきではないか。

### 村長

「株式会社涼海の丘」については、地方自治法において「財政状況の公表等」が定められている。同法施行令の改正もあり、9月議会に経営状況を説明できるよう準備を進める。



### ◆その他の質問

○パートナーシップ制度の導入について





中川 昇 議員

## 子ども医療費

# 現物給付の拡大を

### 村長 令和5年8月診療分から高校生実施

#### 問

本村では、人口減少対策や子育て支援策として様々な施策が展開され、高校生までの医療費助成が行われているが、子育て世代の更なる負担感軽減のため、高校生の医療費現物給付を実施するべきでは。

#### 村長

今定例会に「子ども、妊産婦、重度心身障害者、ひとり親家庭及び寡婦等医療費給付条例の一部を改正する条例」を提出し、令和5年8月診療分から高校生の医療費現物給付を実施する。

#### 生活福祉資金特別貸し付け償還免除要件の緩和を

#### 問

コロナ禍で収入が減った人に、特例で最大200万円を貸し付ける制度に關し、国は返済を免除する対象者の拡大を決め、現在の住民税非課税世帯等に加え、課税世帯でも返済が困難と認められた人が加わることとなった。本村の「緊急小口資金」、「総合支援資金」の貸付者数と貸付額、また対象者への対応は。

#### 村長

資金の貸付制度は都道府県社会福祉協議会が実施主体である。本村の貸し付け状況は、緊急小口資金12件で貸付額は235万円。総合支援資金は7件で貸付額は385万円である。免除対象者への対応は、県社協で借入者全員に關係書類を送付し、該当する者から申請を受け付けている。

#### 带状疱疹ワクチン接種への助成を

#### 問

带状疱疹は、水痘(水ぼうそう)感染経験者の加齢やストレスによる免疫力低下等をきっかけに、ウイルスが再度発症し、日常生活に支障をきたすほどの激痛等、深刻な健康被害を引き起こす。带状疱疹ワクチンの高い予防効果が確認されているが、定期接種対象外のため公費負担は大きく、費用は高額で接種を諦める人が多い。発症予防にワクチン接種への助成が必要では。

#### 村長

厚生労働省所管の「厚生科学審議会」において、予防接種法に基

づく定期予防接種ワクチンの一つとして検討が進められている。他の自治体の状況も情報収集し調査・研究を進めていく。

#### 漁業への支援を

#### 問

海洋環境の変化等で本県の主要魚種の秋サケ、サンマ等の不漁は、本村を含む沿岸部の基幹産業である水産業に深刻な影響を及ぼし、漁業者の経営に悪影響を与えている。漁業協同組合も厳しい経営状況にあり、組合が経営基盤の強化に必要な資金を円滑に調達できるよう、利子や保証料の助成などを行う国県の金融支援を活用するなど、経営の安定化を支援していく必要があるのでは。

#### 村長

主要魚種の不漁は漁業者のみならず、水産業の中核である組合経営にも影響を及ぼしている。村では設備投資に対し利子補給のほか、意欲的な資源回復への取り組みに対し補助など組合経営、漁業者への支援も実施してきた。組合経営安定化のため、金融支援、漁獲高の増大も必要

だ。引き続き意欲的な取り組みへの支援、活用可能な支援事業の情報提供を行い、關係機関と連携する。



玉川漁港付近

◆その他の質問  
○「書かない」行政窓口の推進について

# プチ筋トレで転ばない健康効果を

## 村長 切れ目ない形で広域連合等と協議



山田 陽子 議員

「あびび」のトレーニング設備の活用について

**問** 利用を希望する村民へ、運動不足解消や筋力低下などの予防に有効活用すべきでは。

**村長** 昨年が続いて7月頃から、計16回ほどトレーニングを実施予定であり、新規事業のポールウォーキングなども予定し、筋力アップや姿勢改善など高齢者の介護予防に取り組む。

**問** 健康維持には定期的な事業の継続が必要では。

**村長** 切れ目のない事業となるよう関係機関と協議しながら進めていく。



### 保育施設について

**問** 村の出生数は令和元年度以降20人前後と減少傾向にあり、定員数を見直す時期にあると思われるが。

**村長** 現在は各保育所の申し込み状況に応じて入所児童数の調整・決定を行っており、入所児童数に合わせ保育士が配置されている。野田村保育会では、必要に応じた利用定員数の変更について検討予定と伺っている。

**問** 村外における保育事故等が問題となっており、「保育の質向上」のためにも保育士増員を早急に検討すべきでは。

**村長** 村の発展に資する若者の人材確保に向け、村育英会奨学金の返還免除や奨学金返還支援事業などを行っている。また保育士の確保について保育会等と連携し取り組んでいく。

### 津波防災対策における車での避難訓練について

**問** 自力避難が困難な要支援者について、車での避難訓練や、必要な人が車で避難が可能か見極め避難計画なども必要では。

**村長** 村地域防災計画で「避難手段は原則徒歩とし、避難場所等までの距離や避難行動要支援者など地域の実情に応じ、やむを得ず自動車により避難せざるを得ない場合においては、避難者が自動車で安全かつ確実に避難するための方策をあらかじめ検討する」としており、県がとりまとめ予定の車避難に関する意見等も踏まえ検討したい。

### 歯周病予防について

**問** 他の病気を引き起こすリスクが高まるなどの指摘もあり、口腔衛生意識の向上と一歩踏み込んだ対策が必要と考えるが今後の取り組みは。

**村長** 村では平成28年3月に「のだむら歯と口腔の健康づくり基本計画」を策定し、4つの年代別に課題に取り組んでいる。今後も基本目標である「生涯にわたり美味しく食べたり、楽しく話したりすること」の達成に向け関係機関と連携し効果的な推進に努めたい。

### 生涯学習について

**問** 新教育長の生涯学習への思いは。

**教育長** より豊かで充実した人生を過ごすために「生涯学習」の重要性が一層高まっている。コロナ禍以前の状況までにはまだ時間を要するが、まずは本年度計画の各事業について試行錯誤を加えながらも着実に実施し、課題意識を持ち次年度に向け検討を重ねて参りたい。

# 観光客誘致の取り組みは

## 村長 情報発信に努める



米田 徳一郎 議員

**問** 当村のジオパークの現状と課題は。

**村長** ジオパークとは、地球科学的な価値を持つ遺産を保全し、教育やツーリズムに活用し、持続可能な開発や活用を進める取り組みを指す。2013年に本村を含む三陸ジオパークが日本ジオパークとして認定された。三陸ジオパーク推進協議会の構成員として各種の普及啓発活動に参加し、関係団体の活動へ協力している。今年度は、日本ジオパーク委員会における再認定審査が行われる。再認定に向けた取り組みを行っていく。

### 観光施設、資源の現状と課題は

**問** 集客状況や収益性、利用状況の把握や今後の活用は。

**村長** 地元の宿応援割事業、認知度向上事業等で観光客の誘客や情報発信に取り組んできた。アフターコロナ時代を見据えた観光施設の改修を実施した。今年度は、全国的に人流の活

発化が見込まれる。観光需要の受け皿となるよう情報発信に努めるほか、独自の取り組みを積極的に進める。

**問** のだ塩工場の現状と課題、新たな取り組みは。

**村長** 近年は、増産と生産効率の向上を図っており、現在では年間10トン前後を製造している。コロナ禍の影響による取引先の状況変化などで新たな取引先の獲得が課題である。見学や体験の受け入れなど村外からの誘客に努めたい。

### 十府ヶ浦海岸の海岸浸食防止対策と砂浜再生を

**問** 砂浜の浸食は、国土保全上最も重要な課題。当村にとっても漁業、観光、防災面で大きな損失。早期対策を求めるべきでは。

**村長** 例年、県に重点事項要望をしている。県から、浸食及び砂浜再生対策として工事で発生した浚渫砂等を活用し約4万立方メートルを投入し対応していただいた。引き続き往時

の海岸として再生されるよう強く要望していく。

### 既存の公共用地の利用計画を示せ

**問** 旧玉川小学校跡地は風光明媚な玉川海岸を眺望できる好条件を備えている。観光施設、資源として有効活用すべきでは。

**村長** 現在は、公共工事で発生した資材や道路維持工事等で利用する資材置き場として利用している。今後も資材の保管場所が必要なことから資材置き場として利用したい。



旧玉川小学校跡地 (現況)

**問** 旧横合小学校跡地の利用計画は。

**村長** 現在、宅地としての分譲も想定し、関係法令や他の自治体の例などを確認し区画やインフラ整備の内容を検討している。

**問** 新山グラウンドは、災害復旧が進んでいないが、今後の利用計画は。

**村長** これまで県や村の復興事業等の残土置き場として使用してきた。県が引き続き使用したいとのこと、今後状況を見ながら復旧に向け調整していく。

**問** 高齢化や少子化等から供養や墓守の心配をする声を聞くが、村の墓地に「無縁墳墓」整備を。

**村長** 少子高齢化や家族の多様化等により墓地进行が難しくなってきたり、継承が困難なケースも出ています。また、宗教や心情的な面からも配慮しなければならぬことが多く、今後の状況を注視したい。



6月23日 玉川保育所運動会

議会傍聴にお越しく下さい

村議会定例会は、3月・6月・9月・12月に行われています。傍聴の手続きは、受付簿に必要事項を記入するだけなのでとても簡単です。村の将来やあり方についての議論を直接聞くことができます。皆様の傍聴をお待ちしております。

次の定例会は 9月です

議会だよりクイズ

問題

村議会定例会は年に何回でしょう？

- ① 4回
② 2回
③ 1回

【前号の答え】

① おたふくかぜ予防接種事業

【当選者】 澤口胤舜 さん

正解者の中から抽選で3名の方に「野田村共通商品券」をプレゼント!

【応募方法】

はがきやFAXなどで、答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先を記入してご応募ください。応募は1人1通までとし、匿名での応募は受け付けません。議会だよりに対するご意見もお待ちしております。

【応募先】

〒028-8201 九戸郡野田村大字野田20-14 野田村議会事務局「議会だよりクイズ」係まで FAXの場合は 0194-78-3995 まで

【締め切り】 8月14日消印有効。

【当選発表】

次回号で当選者(特に断りが無い限り氏名)を発表します。

あとがき

暑い日が続き熱中症が心配される時期です。皆様いかがお過ごしでしょうか。今回の議会だよりが今期最後の発行となりました。この4年間、村民の皆様には大変お世話になりました。新型コロナウイルスにより、活発な活動ができません中、何とか広報委員会の務めを果たすべく活動して参りました。中でも、村民の皆様からのご協力を頂き実施することが出来た「野田村議会に関するアンケート」は、日頃から皆様抱いている想いや要望等を改めて「見える化」出来た良い機会となりました。本当に感謝しております。次期村議会でも、多くの村民の皆様読んでいただけるよう、考え等しっかりと引き継ぎたいと思います。引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。広報委員会委員長としてのご挨拶とさせていただきます。 障子上文義

発行責任者

議長 廣内和之

広報編集委員会

委員長 障子上

委員 小野寺光義
委員 米田徳一郎
委員 野崎泰斗